

# 第 1 回

## 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会

### 議 事 概 要

事 項	第1回 但馬（円山川等）地域 総合治水推進協議会	出席者	15名 （事務局除く）
日 時	平成26年10月9日（木） 10：00～12：00	場 所	兵庫県豊岡総合庁舎 4階 401会議室
内 容	1. 開 会 （1）開会あいさつ （2）委員紹介 2. 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会について （1）推進計画策定および協議会開催のスケジュールについて （2）協議会設置要綱（案）について （3）公開要領（案）について 3. 議 事 （1）但馬（円山川等）地域総合治水推進計画（素案）について （2）但馬地域の各主体の取組について 4. その他（連絡事項） 5. 閉 会		
資 料	資料1-1 総合治水推進計画策定およびスケジュールについて 資料1-2 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会 設置要綱（案） 資料1-3 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会 公開要領（案） 資料2 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画（素案）説明資料 資料3 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画（素案） 資料4 但馬（円山川等）地域の各主体の取組 参考資料 総合治水条例パンフレット 総合治水条例ハンドブック		

#### 1. 開 会

兵庫県但馬県民局 岩根局長より、開会のあいさつを行った。  
事務局より、委員の紹介を行った。

#### 2. 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会について

事務局は、資料1-1により、総合治水推進計画策定およびスケジュールについて説明を行った。

事務局は、資料1-2により、但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会設置要綱（案）について説明を行い、了承された。

事務局は、資料1-3により、但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会公開要領〔準則〕（案）について説明を行い、了承された。

### 3. 議 事

#### 3. 1 会長あいさつ

会長より、あいさつを行った。

#### 3. 2 会長代理人の選出

会長より、会長代理人として岩根委員を指名し、了承された。

#### 3. 3 議事録署名人の選出

会長より、議事録署名人として岩根委員を指名し、了承された。

#### 3. 4 但馬（円山川等）地域総合治水推進計画（素案）について

事務局は、資料2により、但馬（円山川等）地域総合治水推進計画（素案）の概要について説明を行った。

#### 3. 5 但馬（円山川等）地域における各主体の取組について

国土交通省、兵庫県、各市町の委員が、資料4により、但馬（円山川等）地域の総合治水に関する各主体の取組について説明を行った。

#### 3. 6 質疑応答

続いて、質疑応答に入った。主な意見は、下記のとおり。

- ・ 円山川水系自然再生推進委員会と、この委員会の関係はどうなっているのか。（県民委員）
- ・ 円山川水系自然再生推進委員会は、治水や環境整備事業にあたって委員にご助言を頂く委員会である。（国委員）
- ・ 治水の観点と自然再生の観点であり切り口は違うが、齟齬そごのないように進めていきたいと考えている。（県関係課室）
- ・ 豊岡市では、1年で7割くらいの区長が代わるような早いサイクルであり、意識の共有に課題がある。区長連合会として、継続的に受け継ぐことのできるシステムが必要であると思っている。（県民委員）
- ・ 豊岡市の簡易雨量計の作成の取組は、学校でも実施したらどうか。（県民委員）
- ・ 豊岡市への要望として、検討したい。（市町委員）
- ・ 円山川下流の豊岡市では、30年前と比べて水の流れ出る時間が約1時間30分早くなっているように感じるが、下流域の河川改修が手付かずの所がある。激特事業で工事が進んでそれなりの対策は進んだが、下流は自然保護のため浚渫もできないと聞いており、これをクリアしてもらわないとまた災害が発生するので、考えを聞かせて欲しい。（県民委員）
- ・ 不安を解消するように、計画に基づき粛々と整備を進めている。（国委員）
- ・ 上流では、下流の整備規模以上の整備は行わないのが全国的なルールであり、円山川も上下流で調整しながら行っている。（県関係課室）

- ・一つの河川で流域が複数にまたがる場合には、関係する市町の連携も必要である。  
(県民委員)
- ・この会議がまさにその場であり、様々な意見を出してもらい、推進計画の中にまとめていってもらいたい。(会長)
- ・但馬地域は8割が山林であり、流木対策が重要。間伐はどれくらい進んでいるのか。朝来市では、平成21年台風9号で流木による甚大な被害を受けたが、流木に対してどんな考えを持っているのか。(県民委員)
- ・間伐した木材を放置しておく、土石と一緒に大ききな災害につながるため、間伐材の処分方法についても他の事例を参考にして取り組んでもらいたい。(会長)
- ・平成21年の台風9号による被災後に、県では重点的に砂防ダムや治山ダムの整備を進めており、引き続き山地防災・土砂災害対策の計画をもとに事業を実施している。森林の整備についても、県では平成18年から災害に強い森づくりの一環として間伐を重点的に実施しており、流木対策を進めている。平成21年の災害では、災害に強い森づくりの整備箇所では被害がなかった。(県関係課室)
- ・但馬地域には、ため池が240箇所もあるとのことだが、農業をやらない地域が増えたりする中で、うまく利用すれば治水にも活用できるが、その管理が非常に大事である。(会長)
- ・総合治水の中では、事前放流を実施することによって「ためる」対策に使えるのではないかと考えている。保全についても、「多面的機能支払交付金」という制度を平成19年から実施しており、ため池の保全が流域対策につながるよう取り組んでいきたい。(県関係課室)
- ・総合治水の「そなえる」を「減災」と書いているのは、思想としておかしい。例えば、堤防対策の「ながす」の中にも、明らかに「減災」の思想がある。用語はしっかり整理した方が良い。(市町委員)
- ・兵庫県の総合治水条例では減災対策を「そなえる」と定義しているが、委員の意見を踏まえ、但馬地域の総合計画では使い方を考えさせて頂く。(県関係課室)
- ・素案の3章では、河川整備計画が策定されているところは整備するが、河川整備計画が策定されていないところは整備を行わない、というようにも読める。10年間の取り組みを記載するのであれば、さらっとした用語で済ませるべきではない。(市町委員)
- ・河川整備の書き方については、検討したい。(県関係課室)
- ・森林整備にあたって、ポット苗は便利だが、直根を伸ばして植えないと強風が吹くと倒れる木になるという問題があり、植栽の方法にも問題があるのではないかと。(市町委員)

- ・ ポット苗によって植樹した樹木の根系の緊縛度試験では、ある程度の強度が発生しているということから、必ずしもポット苗が全て悪いわけではないが、欠点もあるので、十分考えて植栽を行っていききたい。（県関係課室）
- ・ 上流の山を管理する側の責任、田んぼダムについても下流に流す側の責任という観点も必要である。せつかく上下流の関係者が集まって計画を策定するのであるなら、上下流の責任というような視点を盛り込む方がいいのではないか。（市町委員）
- ・ 「ロマンチック」な計画を策定しても意味がない。田んぼダムや各戸貯留では、どれくらいの効果があるのか。シミュレーションをやってみる必要がある。（市町委員）
- ・ 実効性を確認するため、モデル的に数値シミュレーションを実施し、次回協議会においてお示しする。一方、数値的に効果を表せない取り組みであっても、市民の啓発に役立つものは、計画に記載していくべきと考えている。生活に防災の意識を溶け込ませることが大切である。（県関係課室）
- ・ 上流から下流まで一体的に考える必要があるが、総合治水は、非常に理念的になってしまいがちである。このため、防災に役立つような実効性のあるものを示せるかが大切である。（市町委員）
- ・ この計画で、カバーできる部分がどこまでなのかを明確に整理する必要がある。雨の降り方によって、推進計画で対応できるものとそうでないものもあるので、降雨のあり方等も十分に検討して頂き、計画にも盛り込んで頂きたい。（市町委員）
- ・ 概要資料の2ページには、全国的な大雨の増加傾向が説明されているが、但馬でのデータを調べて、但馬地域を背景とした推進計画として頂きたい。（市町委員）
- ・ 「治水」という本旨が薄れない計画として頂きたい。「そなえる」ことも必要だが、やはり「治水（河川下水道対策）」を一番の念頭においた計画にして頂きたい。（市町委員）

#### 4. その他（連絡事項）

事務局より、以下の3点について事務連絡を行った。

- i 議事要旨を作成するので、各委員には確認をお願いしたい。
- ii 今後、ワーキング及び、第2回の推進協議会の開催を予定している。日程については追って連絡させて頂く。
- iii 県のホームページに、推進協議会の情報を掲載していく。

#### 5. 閉 会

第1回 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会  
出席者一覧

(順不同、敬称略)

区分	氏名	主な役職	出欠
学識経験者	道上 正規	鳥取大学名誉教授	出席
国土交通省	和佐 喜平	豊岡河川国道事務所長	代理出席 佐久間
兵庫県	岩根 正	但馬県民局長	出席
市 町	中貝 宗治	豊岡市長	出席
	広瀬 栄	養父市長	出席
	多次 勝昭	朝来市長	出席
	浜上 勇人	香美町長	代理出席 西内
	岡本 英樹	新温泉町長	代理出席 西村
県 民	中嶋 洋二郎	豊岡市区長連合会 会長	出席
	高木 俊雄	養父市区長会 会長	出席
	太田垣 總一郎	朝来市連合区長会 会長	出席
	藤原 進之助	香美町連合自治会 会長	出席
	西岡 安雄	新温泉町自治連合会 会長	出席
	岩崎 夏雄	兵庫県防災士会豊岡ブロック 事務長	出席
	小西 勝市	兵庫県土地改良事業団体連合会豊岡支部 支部長	出席

議事録確定署名人

会長：鳥取大学名誉教授

道上 正規

但馬県民局長

岩根 正